

事務事業評価表

| | | | | | | | |
|--------|---|-------------------------------------|---------|----------------|---------|---------------------------------------|-----|
| 評価対象年度 | 平成 15 年度 | | | | | 事務事業コード | |
| 事務事業名 | 道路清掃業務 | | | | | 事務事業コード | |
| 担当部課係等 | 建設部建設課維持係 | | | | | <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画対象事業 | |
| 総合計画体系 | | | | | | 法令根拠 | 道路法 |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業 | | |
| | 5 | 8 | 2 | 2 | 3 | | |
| 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和29年度 ~) (年度 ~ 年度) | | | | | | |
| 事業概要 | 「道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、もって一般通行に支障を及ぼさないように努めなければならない。」(道路法第42条)の規定に基づき実施する事業です。地域から要請により、市道、生活道路の舗装、側溝、路肩の清掃の事業を実施しています。また、歩道付きの幹線市道は郊外にあるものは年4回、市街地にあるものは年5回、路面清掃車による清掃を定期的に業務委託で実施しています。「市民清掃の日」や「道路の里親制度」により市民と行政の協働で、地域のボランティア活動による清掃も実施しています。 | | | | | 全体計画 (単位:千円) | |
| | 事業費 | 財源内訳 | 事業費計(A) | 人件費 | 人件費計(B) | トータルコスト(A)+(B) | |
| | | 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 | | 正規職員 正規職員以外 | | | |

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果

① 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)

苦情、要請、通報の受付⇒現場調査⇒、直営により処理
 苦情、要請、通報の受付⇒現場調査⇒業者委託により処理
 パトロールによる要清掃箇所を発見⇒直営・委託等による処理
 幹線市道の定期的清掃⇒業者委託により処理
 市民、地域のボランティア活動による清掃⇒収集したごみの直営運搬
 路上放置車両の通報⇒現場調査⇒警察との協議⇒処理

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

清掃の必要な道路

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

常時良好な状態に維持する。

④ 結果(どんな結果に結びつけるのか)

快適な交通環境と道路環境の維持

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

直営での処理件数
 請負・委託での処理件数
 ⇒ パトロールで発見し、処理した件数
 幹線市道の清掃委託延長
 ボランティア活動等により清掃した道路延長
 放置車両の処理台数

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

⇒ 清掃が必要な道路延長、箇所数。

⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない

⇒ 道路維持延長

⑧ 上位成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない

⇒ 良好な交通環境や道路環境が維持されていると思っ
 ている人の割合

(2) 総事業費・指標等の推移

(単位:千円)

| | | 12年度 (実績) | 13年度 (実績) | 14年度 (実績) | 15年度 (実績) | 16年度 (見込) | 17年度 (目標・計画) | 18年度 (目標・計画) |
|----------------|-------------|--------------|--------------|---------------|---------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 投入量 | 事業費 | | | | | | | |
| | 財源内訳 | | | | | | | |
| | 国庫支出金 | | | | | | | |
| | 県支出金 | | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | その他 一般財源 | | 7,800 | 7,800 | 7,800 | 7,800 | | |
| 事業費計(A) | 0 | 7,800 | 7,800 | 7,800 | 7,800 | 0 | 0 | |
| 人件費 | 正規職員 | | 200 | 200 | 200 | 200 | | |
| | 正規職員外 | | | | | | | |
| 人件費計(B) | 0 | 200 | 200 | 200 | 200 | 0 | 0 | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 0 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 0 | 0 |
| 活動指標 | | | | 直営20件 委託7件 | 直営22件 委託8件 | | | |
| 対象指標 | | | | | | | | |
| 成果指標 | | | | | 市道延長852k m | | | |
| 上位成果 指標 | | | | | | | | |

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？
 道路法により市道の維持、管理が道路管理者の義務となっている。地域からの要請がある道路、施設の機能に支障が出ている場所に清掃業務を実施している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？
 ・管理すべき道路延長や路線は年々増加しています。路肩、路上への投棄されるごみの量や放置車両は年々増加しています。また、近年、自宅前の道路のごみであっても自分で処理しようと思わない傾向の人が増えています。一方、「市民清掃の日」には多くの市民がボランティア活動による道路清掃に参加、活動するようになってきました。また、「道路里親制度」等の活動に参加し、定期的に道路清掃する地域も見られるようになりました。

③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
 不法に投棄される道路上のごみは通行者のモラル意識の問題でもある。路肩等に投棄されたごみは目立つため、至急の処理要請が多い。ごみや土砂による側溝等雨水排水施設の詰まり解消のための清掃要望が多い。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

| | | | |
|-----------------|---|---|---|
| 目的 妥当性 評価 | ① この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが上位施策に結びついていますか？ | <input type="checkbox"/> 結びつかない ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく ⇒【理由】⇒ | 「生活環境の整備」は「安全で快適」「住みよい町づくり」を目指す本市の政策体系と結びつく。 |
| | ② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的ですか？ | <input type="checkbox"/> 手が引ける ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない ⇒【理由】⇒ | 市道の維持管理は道路管理者の義務である。市道や生活道路についても、道路そのものが不特定多数者の者が利用する公物であり、誰かが機能管理を行わない以上、市が機能管理をしなければ円滑且つ安全な道路交通環境、や景観や機能が確保されず、市民の日常生活に支障が発生する恐れがあるため、手が引けない。 |
| | ③ 対象・意図の拡大又は縮小余地 事業の対象・意図は適切か？拡大・縮小の余地はあるか？ | <input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ | 道路の機能維持の事業を縮小すれば市民生活に支障をきたすため、縮小の余地はない。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある ⇒【原因】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 余地がない ⇒【理由】⇒ | |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策 | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒【問題解決策】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ | 業務を廃止・休止した場合、道路環境が悪化し、通行や、雨水排水機能に支障が発生するほか、通行者からの苦情が起きるため、廃止・休止は出来ない。 |
| | ⑥ 類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) 他課の/パトロール部門との組織統合。 <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない | |
| 効率性 評価 | ⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策 | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒【問題解決策】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ | 事業費の削減はできない。削減すれば、苦情、事故が増加する恐れがある。 |
| | ⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど) | <input checked="" type="checkbox"/> 可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 不可能 ⇒【理由】⇒ | |
| 公平性 評価 | ⑨ 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？ | <input type="checkbox"/> 公平・公正な負担率ではない。⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正な負担率である。⇒【理由】⇒ | 道路施設は不特定多数のものが利用する公共施設であり、公平、公正な配分である。 |

3 改革・改善方向の部

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 見直し(目的妥当性 効率性 有効性 公平性) 統合 継続

①道路清掃及びパトロールを管理する全路線で定期的に実施します。

道路の未清掃が原因の苦情、事故、施設機能不全の発生以前に清掃が必要とされる箇所をパトロール等により未然に発見し、清掃業務を実施することにより、通行者が安全で快適な利用ができる道路環境を維持します。

②市民ボランティアによる清掃(市民清掃の日等)や行政と地域が協働する道路アダプト制度を展開し道路維持費用の軽減と道路愛護精神の高揚を図ります。

③他課と同様な作業形態であるパトロール業務の体制統合を図ります。

(3)改革・改善による期待成果

| | | コスト | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | ○ | |
| | 維持 | | | × |
| | 低下 | | × | × |

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?

課題 :パトロール要員、清掃要員組織の拡充。

克服方法:道路パトロールと一部の市道で実施している道路清掃業務の組織の統合を検討します。

4 事務事業の2次評価結果

(1)1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足(説明責任不十分) 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2)2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性 適切 見直し余地あり

② 有効性 適切 見直し余地あり

③ 効率性 適切 見直し余地あり

④ 公平性 適切 見直し余地あり

(3)評価結果に至る経緯や申し送り事項

(4)2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5)その他2次評価会議で指摘された事項

(6)改革・改善による期待成果

| | | コスト | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | ○ | |
| | 維持 | | | × |
| | 低下 | | × | × |

5 最終意思決定結果

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?